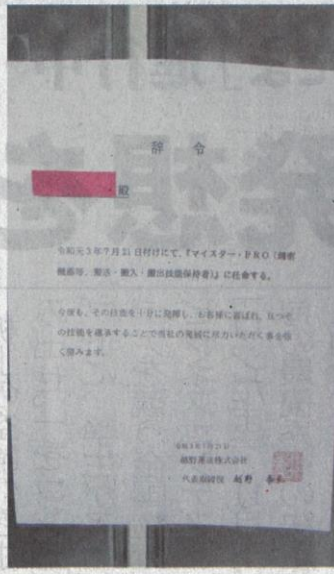


# マイスター制度導入

## 越野運送 人材スキルアップの一環

【大阪】越野運送(越野泰弘社長、大阪市都島区)は、人材のスキルアップの一環でマイスター制度を導入して従業員の品質の底上げをしている。

今回、同制度を導入した経緯について、越野社長は、「以前頻繁に精密機器の配送をしていたノウハウを生かし新たな仕事を核にするためと人材のスキルを高めるまで以上に確保できると今期に4トウイングゲートエアサス車を導入する。同制度のもう一つの狙いと



マイスター・PROの辞令

して従業員の現場スキルを上げること、現状スポット対応の精密機器輸送を定期的にもらえるようにしたいと考えている。

定期的に仕事を貰

うために精密機器の作業ができる従業員を育てないといけないと考え、現在精密機器の仕事を任せている人材にマイスター・PROの役職をつけて人材の育成に当たってもらう考えだ。

「人材育成の責任感を持ってもらえるように役職もつけている。一人でも多くの人材を育ててもらい、スキルの高いメンバーで新しい精密機器輸送の仕事を確保できるようにしたい」と狙いを話す。

人材育成ができれば

ば配車もスムーズに行えんと考えている。同社長は「現状では、依頼が被ったときに安心して仕事を任せられる人材が少なく、配車を組むのが難しい時がある。今後、働き方改革に対応するためにも偏った人材にお願いするわけにはいかない」と先を見据えた展開を話す。

今回、同PROに任命した人材による今後の育成に期待、また育成に注力すること、仕事の幅を広げていく考えのようだ。

(中村優希)